

電波の医療機器等への影響に関するワーキンググループの設置について

1. 設置の目的

携帯電話等の無線機器から発射される電波が心臓ペースメーカー等の医療機器に及ぼす影響については、総務省が「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」を示し、影響の防止に関する周知広報を行っている。

電波利用の急速な拡大・多様化が進展する昨今において、これらの影響に関する研究結果の評価・分析を行い、同指針の評価・検証を行うことにより、国民が安心して安全に電波を利用できる社会を構築することを目的として、生体電磁環境に関する検討会の下に電波の医療機器等への影響に関するワーキンググループを設置することとする。

2. 検討項目

- (1) 電波の医療機器等への影響に関する国内外の研究結果の評価・分析
- (2) 「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」の評価・検証
- (3) その他関連する事項

3. 構成

ワーキンググループは、別紙に掲げるものをもって構成する。ワーキンググループには主査を置き、主査は生体電磁環境に関する検討会の座長が指名する。

4. 事務

ワーキンググループの事務は、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課が行う。

5. その他

ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、主査が定める。

以 上

別紙**電波の医療機器等への影響に関するワーキンググループ構成員**

(令和2年1月30日時点。敬称略、五十音順)

構成員名	所属
牛山 明 <small>うしやま あきら</small>	厚生労働省 国立保健医療科学院 統括研究官
庄田 守男 <small>しょうだ もりお</small>	東京女子医科大学 循環器内科 特任教授
西澤 真理子 <small>にしざわ まりこ</small>	リテラジャパン 代表取締役
野島 俊雄 (主査) <small>のじま としお</small>	北海道大学 名誉教授
渡邊 聡一 <small>わたなべ そういち</small>	情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁環境研究室 室長